

こちらは吉祥寺雑学大学。

私はこれが3回目だが-

“雑学大学開講記念講座「ベルナール・ビュフェと30年を越えるコレクター人生」田中章介
ギャラリー プランタン代表 会場：ギャラリー彩”とあるので行ってきた(2017.11.04)。

「ああ、今まで私はビュフェに出会ったことがなかったんだ！」

やはりたまに一枚ずつあっちやこっちで見かけるだけではだめで、「こうして一堂に会したところで“全体感”でもって味わうのでなければ“画家”とは出会えないのだな」と痛感した。

場内には常連の方を中心に20人ほどが長テーブルを囲い、立って話される田中章介さんの話に聞き入る(時々質問も)。ビュフェへの並々ならぬ愛と情熱が伝わってくる。

数多く並べられた版画から感じられたものは-

いわゆる抽象画とか非対象絵画というのではないが、写実画、写生、人物画という言葉から感じられる大人しさなどまるでない。

なんというスピード感だろう！なんという鋭さだろう！これは野球のようなものだ。ピッチャーが速球で投げた“対象”を鋭く打ち返し、そのほとんどはクリーンヒットという塩梅(あんばい)である。置かれていた画集も彼ビュフェの個性を強烈にアピールしていた。

感動した！田中さん！あなたの年齢不詳の若さにも感動した！

2017.11.11 ロクリアン正岡